

III

授業・試験

- 大学からの連絡
- 単位と授業時間
- 休講および補講
- 振替授業日および休日授業日
- 出席の確認
- 欠 席 届
- 教室の表示等
- テキスト(教科書)の購入
- 試 験
- 成績・進級
- 在学の年限
- 卒 業
- 交通機関の乱れや台風・積雪等による授業の休講等
- 前期・後期 試験時間割

大学からの連絡

大学からの連絡事項は、「FU ポータル」「大学が付与するメールアドレス」「掲示板」を通じてお知らせします。

これらの告示、通知、呼び出し等を見なかったために生じる不利益は、学生本人の責任となります。
常に最新の情報を確認する習慣を身につけ、責任を持って行動してください。

(1) FU ポータル

FU ポータルとは、Web 上で提供される福岡大学の様々なサービスの入口となるページです。学生一人ひとりが持つ自分専用のポータルページで、必要な情報やシステムにアクセスすることができます。

◆FU ポータル画面



(例)

学生の皆さん
成績発表に関するスケジュールを
公開します。
不明な点は窓口にお尋ねください。



○ FU ポータル

◆FU ポータルで確認できること

内 容	参照メニュー
最新のお知らせを見たい	お知らせ
シラバスを閲覧したい	授業関連 ➤ WEB シラバス
履修登録をしたい	授業関連 ➤ Web 履修登録 ➤ 履修申請
教室を確認したい	授業関連 ➤ Web 履修登録 ➤ 時間割表(教室割)照会
休講・補講情報を見たい	授業関連 ➤ 休講・補講
成績を見たい	授業関連 ➤ 教務 ➤ 成績発表
履修科目の担当教員からの連絡を見たい	授業関連 ➤ 授業支援 ➤ 授業管理 (学生)
FU_box を使いたい	共 通 ➤ 福岡大学公認クラウドストレージサービス
メールを確認したい	共 通 ➤ Web メール

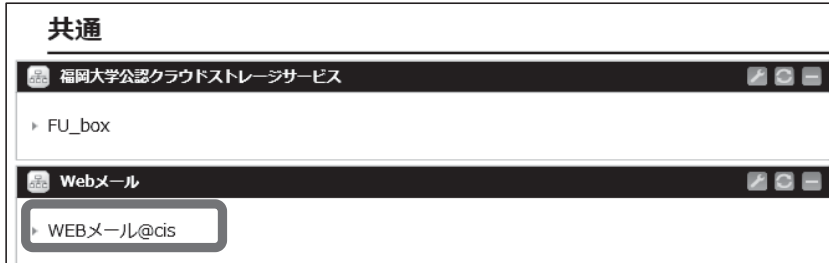
※主な機能を示しています。これら以外にも各種機能があります。

(2) 大学が付与するメールアドレス (@cis メール)

入学の際、学生の皆さんへ次のようなメールアドレスを付与します。大学からの様々な連絡が届きますので、毎日確認してください。

学籍番号@cis.fukuoka-u.ac.jp (例: ee123456@cis.fukuoka-u.ac.jp)

◆FU ポータル画面



Microsoft Outlook のアプリをスマートフォンにインストールし、大学のメールアドレスを設定すると、都度ログインせずに確認することができます。



○教育用メール (@cis)

(3) 掲示板

大学から学生へお知らせするにあたり、紙による掲示を併用する場合があります。掲示板は、全学部共通の中央掲示板 (A棟前) のほか、理系の各学部を設置しています。

FU ポータルとメールは必ず 1 日 1 回確認すること！

●無線 LAN (Wi-Fi) の利用



学内各所に無線 LAN (Wi-Fi) を設置しています。
ノート PC・タブレット端末・スマートフォンなどを接続して
検索や学習に活用しましょう。



○Wi-Fi 接続について

●授業、試験、成績等の問い合わせ先

対象窓口	メールアドレス	対象窓口	メールアドレス
教務二課(人文学部)	jinbun@adm.fukuoka-u.ac.jp	医学部事務課	ijimu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課(法学部)	hogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	医学部事務課看護学科事務室	nurse@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課(経済学部)	keizai@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務三課(薬学部)	yaku@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務二課(商学部)	sho@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務三課(スポーツ科学部)	sport@adm.fukuoka-u.ac.jp
商学部第二部事務課	sho2@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課(教務担当)	kyomu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務三課(理学部)	rigaku2@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課(共通教育担当)	kyotu@adm.fukuoka-u.ac.jp
教務三課(工学部)	kogaku@adm.fukuoka-u.ac.jp	教務一課(教職担当)	kyosyoku@adm.fukuoka-u.ac.jp

単位と授業時間

1 単位制

〔単位制〕

単位制とは、授業科目にそれぞれ定められた単位があり、その授業科目を履修して、合格の評価を得ることによって、卒業に必要な単位数を修得する制度です。

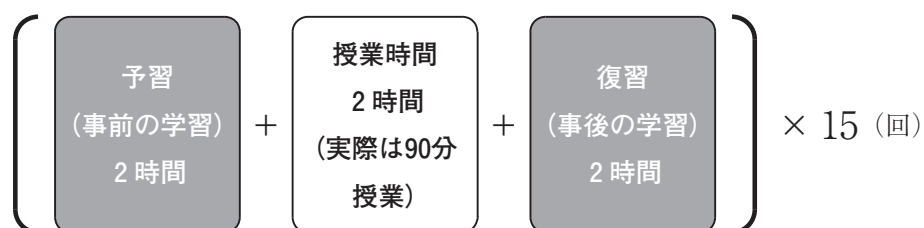
〔単位について〕

単位とは、授業科目を修得するために必要な学修の量を数値で表すものであり、1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成されています。この45時間には、教室で行う授業時間だけではなく、予習復習等の自主学習も含まれます。

〈例〉

半期2単位の講義科目の場合

(1単位45時間のため、単位修得には90時間が必要)



※実際の授業時間は90分間です。単位計算上は1つの授業90分を2時間として計算します。

※半期2単位の講義科目の場合、本学では毎週1回の90分授業を15回実施し、それに自主学習として行う各2時間相当の予習・復習の時間を加えて単位を認めています。授業を受講するだけでなく、自主学習として、予習・復習等を行うことが重要となるため、必ず各授業科目のシラバスを確認してください。

2 授業形態

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行われます。

また、各学部が教育上有益と認めるときは、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修することのできる授業が実施される場合があります。(学則第32条の2および第32条の2第2項参照)

3 授業時間

●全学部（商学部第二部を除く）

1 時 限	9 : 00	～	10 : 30
2 時 限	10 : 40	～	12 : 10
3 時 限	13 : 00	～	14 : 30
4 時 限	14 : 40	～	16 : 10
5 時 限	16 : 20	～	17 : 50
6 時 限	18 : 00	～	19 : 30

●商学部第二部

1 時 限	18 : 00	～	19 : 30
2 時 限	19 : 40	～	21 : 10

休講および補講

授業が休講となる場合、FU ポータルでお知らせします。なお、休講の掲示が出ていないにもかかわらず授業が始まらない場合は、所属学部の事務部署の窓口まで申し出てください。

また、休講に伴い補講を実施する場合は、原則として、補講日の一週間前にFU ポータルで日時・教室等をお知らせします。詳細は本書巻末の「履修登録の手引」付録④を参照してください。

※補講は、指定する土曜日、試験前の指定する日および指定する週の6時限目に実施します。

補講日については、「Ⅱ 学年ごよみ・事務窓口」の2024年度学年ごよみを参照してください。

※交通機関の大きな乱れや台風・積雪等による授業の休講や授業時間の変更等がある場合は、福岡大学公式 Web サイト、FU ポータルでお知らせします。

振替授業日および休日授業日

各曜日の授業回数を確保するため、振替授業日および休日授業日を設定しています。

[2024年度振替授業日] 振替前と同じ時限・教室で実施

前期	月曜日の振替授業日 7月18日(木)
後期	月曜日の振替授業日 12月26日(木)

[2024年度休日授業日] 通常（暦上）の曜日の授業を実施

前期	4月29日(月)「昭和の日」
後期	9月16日(月)「敬老の日」

※医学部医学科（第2学年以上）については、学年暦が異なる場合がある。

出席の確認

学生証を使い、センサーを設置した教室等で授業の出席状況を記録します。

この出席管理システムは、学生の皆さんが自ら生活管理を行い、着実に修学を進めていくためのものです。必ずしも成績評価に利用することを目的としたものではありませんが、担当教員によってはこの情報を成績評価に利用することもあります。また、皆さんの修学や生活指導のデータとしても活用します。本学開催の父母懇談会などでの相談の際にも、皆さんの大学での生活状況の一端としてご父母にお知らせします。

出席確認は受講時に、教室内のセンサーに学生証をかざすだけです。

【注意点】

- ・ 授業開始時刻の10分前～授業開始時刻まで ⇨ 「出席」と記録されます。
(1 時限目および3 時限目は授業開始の20分前～授業開始時刻まで)
- ・ 授業開始時刻以降 ⇨ 5 分刻みで、開始時刻からの経過時間が記録されます。

欠 席 届

欠席に関する取扱いについては、担当教員の判断となります。授業を欠席する（した）場合は、各自で担当教員に速やかに報告して指示に従ってください。

なお、本学に公欠の制度はなく、欠席できる日数について特段の定めはありませんが、1 週間以上欠席する場合は、福岡大学学生規程に基づき、次のような手続きをしてください。

- ① FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある「欠席届ダウンロード」から出力した「欠席届」に必要事項を記入のうえ捺印します。
- ② 記入・捺印した「欠席届」および欠席を証明する書類を添え、各自で各担当教員に報告した後、所属学部の事務部署に提出します。

証明する書類の例……診断書、医証（病気・怪我の場合）等

※詳細は、FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある「授業等の欠席の取扱いについて」を確認してください。

▶医学部の学生については、前記諸届・諸願に関する相談・取次ぎを医学部事務課または看護学科事務室で行います。

教室の表示等

●教室は、A棟・2号館から18号館までと、文系センター低層棟、医学部看護学科棟、人文学部教育・臨床心理学科棟にあります。

〔A棟・2～18号館の教室表示〕

例	A 7 13 (教室番号)	8 2 3 (教室番号)	2 3 A (教室番号)
	⋮	⋮	⋮
	A 7 番号	8 2 番号	2 3 記号
	棟 階 号	号 階 号	号 階 号
		館	館

○例外的な教室表示

A棟地下1階……〔A B 01、A B 02〕 2号館地下1階…〔2 B 1〕

〔情報処理教育の教室（文系センター低層棟3階）〕

文系センター棟PC教室A～D

※授業の教室割は、開講日までにFUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「Web履修登録」の「時間割表(教室割)照会」でお知らせします。

※理系学部の教室変更・未定分については学部の掲示板に掲示します。

※教室等の配置については、FUポータルに掲載します。

テキスト(教科書)の購入

授業で使用するテキスト(教科書)は、学修ガイド、シラバス(医学部医学科の専門科目は「学修要項」)等を参照し、履修する科目のテキスト名を確認した上で、購入してください。

なお、科目によってはテキスト不要の場合や、後期完結科目で後期開講前に販売される場合もあります。

※購入したテキスト(教科書)は、購入時に破損、欠損しているもの以外は返品はできません。

※4月11日の前期授業開始日前後は大変混み合いますので、ネット注文を利用されるか早めに購入するようにしてください。

1 販売日時及び販売場所

販売期間：2024年4月2日(火)～4月19日(金) 【土曜日、日曜日を除く】

販売時間：9：00～19：00(4月8日～4月12日)

9：00～18：00(4月2日～4月5日、4月15日～4月19日)

販売場所：福岡大学 ^{ゆうほう}有朋会館2階ラウンジ

※4月22日(月)以降は、第一売店で販売します。(休日授業日以外の土曜日・日曜日・祝日を除く。)

※4月20日(土)・21日(日)は販売しません。

※後期の共通教育科目(英語・ドイツ語)で使用するテキストは、9月開講時に販売します。

※医学部の専門教育科目については、神陵文庫(医学部研究棟別館地階)にて販売します。期間と時間については書店に確認してください。

2 インターネット注文について

インターネットを利用して注文することで、宅配サービスを利用することが可能です。

〔福岡大学教科書販売サイト <https://fukudai-text.net>〕

〔インターネット注文における注意点〕

- ・『宅配サービス』の受付期間は、4月2日(火)から4月11日(木)までとなっています。なお、宅配サービスは前期のみのサービスです。
- ・宅配サービスの送料及び代引き手数料は別途必要となりますので、詳細については上記の福岡大学教科書販売サイトで確認してください。
- ・申込みから配達まで約3～4日かかります。特に開講日前日は申込みが集中し、配達日が遅くなることもありますので、開講日までに揃うように早めに申し込んでください。

試 験

履修登録した授業科目については、試験に合格（60点以上）しなければ「単位」として認定されません。試験は定期試験・追試験（定期試験を受けられなかった場合の試験）・再試験（定期試験が不合格となった場合の試験）の三種類があります。

※定期試験を実施しない授業科目があります。シラバスを必ず確認し、評価方法をよく理解したうえで履修登録を行ってください。なお、上記の授業科目について、履修の手引（p. 71～72）を参照してください。

1 定期試験

本学では、学期を前期（4月1日～9月13日）と後期（9月14日～3月31日）に分けており、前期・後期それぞれ試験を実施します。

通年の授業科目は、前期・後期共に受験する必要があるため、一方だけ受験しても「単位」は与えられません。また、前期または後期完結の授業科目は、授業が開講された学期だけ受験すればよいことになります。

なお、授業科目の試験時間が重複していると受験できません。履修登録の際は、試験時間割表（p. 27～30）で試験が重複しないように注意して、授業時間割を作成してください。詳しくは、履修の手引「試験の重複」（p. 38）を参照してください。

- 前期試験（7月24日～8月2日〔予備日を含む〕）
- 後期試験（1月15日～1月28日〔予備日を含む〕）
- 交通機関の大きな乱れや台風・積雪等による試験の取扱い

試験日あるいは試験時間の変更等がある場合は、福岡大学公式 Web サイト、FU ポータル等でお知らせします。

2 定期試験についての心得

- ・試験についての注意事項、教室割、試験時限などは、試験前に掲示や FU ポータルでお知らせしますので、事前に確認してください。
- ・試験では、各人の座席をすべて指定します。試験は必ず自分の学籍番号の座席で受験してください。座席表は、教室入口近くの掲示板に掲示します。座席がない場合は試験事務室（A棟地下1階）に行ってください。
- ・成績考査規程を十分心得ておいてください。
- ・学生証は常に携帯し、受験中は必ず写真面を上にして机の座席番号側の見やすいところに置いてください。学生証を所持していない場合は受験することができません。忘れた場合は直ちに証明書自動発行機より仮学生証を出力してください。
- ・試験開始後20分を経過した遅刻者は受験をすることができません。試験開始後20分経過時に合図のチャイムが鳴りますが、チャイムが鳴り始めると一切入室できません。
- ・試験開始後30分を経過しなければ退室を許可しません。
- ・試験中、学生相互の物品の貸借は禁止します。
- ・監督者の指示があるまで次の時限の受験者は教室に入ることはできません。
- ・不正行為者については成績考査規程第5条により、当該期間（前期又は後期）に完結する全授業科目及び通年で実施する全授業科目の評価を「放棄」とします。
- ・答案はいかなる理由でも持ち出してはなりません。答案を持ち出した者に対しては、成績考査規程第5条の2により、その受験科目の評価を「放棄」とします。
- ・その他、試験場では監督者の指示に従わなければなりません。

3 定期試験時間表

●全学部（商学部第二部を除く）

1 時 限	9 : 30	～	10 : 30
2 時 限	10 : 50	～	11 : 50
3 時 限	12 : 30	～	13 : 30
4 時 限	13 : 50	～	14 : 50
5 時 限	15 : 10	～	16 : 10
6 時 限	16 : 30	～	17 : 30

●商学部第二部

1 時 限	18 : 20	～	19 : 20
2 時 限	19 : 50	～	20 : 50

▶医学部医学科については、別に示されます。

4 追試験（定期試験を受けられなかった場合の試験）

追試験は、定期試験を、病気その他やむを得ない事情によって受験できなかった者に所定の手続と審議を経て許可される試験です。これには、

- ・事前の願い出を原則とします。
- ・受験料を必要とします。（1科目2,000円）
- ・願い出た者全員が許可されるとは限りません。
- ・欠試の理由によって、得点が制限されます。

以上の制約があり、皆さんにとって不利益ともなります。したがって、万難を排して定期試験を受けるようにしてください。

手続及び不明な点の問い合わせは学生課（医学部医学科専門教育科目は医学部事務課、看護学科専門基礎科目・専門教育科目は看護学科事務室）で取り扱っています。手続の際は必ず欠試の理由を証明する書類（例：病気の場合は医師の診断書）、および印鑑を持参してください。

追試験の申込期間・実施日等の日程については、定期試験前にFUポータル等でお知らせしますので、見落とさないように注意してください。

また追試験については、成績考査規程第6・7・8・11条を参照してください。

- 前期追試験（8月28日～9月1日に実施予定〔予備日を含む〕）
- 後期追試験（2月21日～2月28日に実施予定）
- 定期試験を実施しない授業科目は、追試験を実施しません。

5 再試験（定期試験が不合格となった場合の試験）

定期試験で不合格となった者については、願い出により再試験を行うことがあります。しかし、次のような制限があります。

- ・人文・法・経済・商・商二・工・スポーツ科の各学部は4年次生以上に対して実施します。
- ・理学部は2・4年次生に対して実施します。
- ・医学部医学科は全学年の学生に対して実施します。
- ・医学部看護学科は1年次生および2年次生については、試験の結果、不合格の成績評価を得た者で、再試験により進級の見込みのある者、3年次生については、前期に開講する専門基礎科目及び専門教育科目（ただし2020年以前の入学者については前期に開講する選択必修科目の外国語科目、専門基礎科目及び専門教育科目）について不合格の成績評価を得た者で、再試験により3年次後期に開講する看護学実習科目の履修見込みのある者および4年次生に対して実施します。
- ・薬学部は1年次生から5年次生に対して試験の結果、不合格の成績評価を得た者で、再試験により進級の見込みのある者および6年次生に対して実施します。ただし、3年次生に対しては共通教育科目の再試験は実施しません。
なお、専門教育科目については、再試験の結果、上位年次に進級できない者は、その再試験を無効とします。
- ・医学部医学科以外の学生は後期の追試験の結果、不合格となった者を除きます。
- ・受験資格や受験することができる単位数は成績考査規程第12条、第13条を参照してください。
- ・前期に履修した授業科目が不合格となり、後期登録変更を行うことで同一科目を後期に再履修した場合の再試験の取り扱いは次のとおりです。
 - (1) 前期および後期の成績がともに欠点による不合格の場合、後期に履修した授業科目のみを再試験受験の対象科目とする。
 - (2) 前期の成績が欠点による不合格で、後期の成績が放棄による不合格の場合、後期に履修した授業科目のみが再試験の対象となるが、当該授業科目を放棄しているため再試験の受験資格を与えない。
- ・合格した場合の評点は60点となります。
- ・受験料（1単位1,000円）を必要とします。
- ・医学部医学科の時間制の専門教育科目は1科目4,000円を必要とします。

2月中旬に上記の学生を対象に成績発表を行い、その結果願い出た者について再試験を実施します。必ず成績発表の日にFUポータルのカテゴリ「授業関連」にある「教務」の「成績発表」で自分の成績を確認してください。手続は成績考査規程第13条を参照してください。

- 再試験（2月21日～2月28日に実施予定）
 - 医学部看護学科の3年次の再試験は前期開講科目について実施するため、手続や期間が異なります。
 - 卒業要件と課程修了要件を満たすために必要な科目が重複した場合、その再試験科目を申請する際には、再試験の科目として申請できない場合がありますので注意してください。
- ※詳細については、教職課程、博物館学芸員課程、社会教育主事課程を履修する場合は教職課程教育センター、日本語教員課程を履修する場合は教務二課（人文学部）に確認してください。
- 定期試験を実施しない授業科目は、再試験は実施しません。

成績・進級

前・後期それぞれの定期試験の成績発表日以降、FU ポータルのカテゴリ「授業関連」にある教務（学生メニュー）の「成績発表」より各自で「成績通知書」を確認することができます。

1 成績評価

- ・成績は100点法によって評価され、60点以上が合格となり所定の単位が与えられます。
 - ・成績通知書には科目ごとに点数が表示されます。
 - ・不合格者（59点以下）の場合は、点数の末尾に「F」が表示されます。
 - ・放棄の場合は、「H」が表示されます。
- ※放棄「H」とは、「試験放棄又は成績評価不能」を示しています。（福岡大学成績考査規程第4条第2項第6抜粋）
- ※「試験放棄」とは、定期試験・追試験および再試験を受験しなかった場合であり、「成績評価不能」とは、試験によらず成績を評価する科目について、学生の課題等の提出状況、受講状況その他の成績評価の前提条件を満たしておらず、点数を付けることができないと担当教員が認めた場合となります。

素点範囲	成績評語
100～90	秀
89～80	優
79～70	良
69～60	可
59点以下	不可
試験放棄又は成績評価不能	放棄

2 成績・進級

学年末には「成績通知書」を確認の上、次年度の履修登録を行うこととなります。誤った履修登録を行うと、修業年限（4年間。医学部医学科および薬学部は6年間。）内で卒業できない事態を招きかねません。自分の修得科目や単位数を十分に把握し、学則や学科履修規程を熟読して慎重に履修登録をするよう心がけてください。

また、修得単位数が少ない場合、理系学部では規定により登録できる科目が制限されたり、進級できずに「留年」となる場合があります。不断の努力を重ね、修業年限内での卒業をめざしてください。

3 GPA 制度

成績通知書に、成績評価指標としての GPA を付記します。

GPA (Grade Point Average) は、次に示した算出基準・計算式で計算される履修科目の評点に単位数を加味した加重平均値です。大学での学修が、単に卒業単位を取得するのみではなく、より真剣に学ぶことにより大学教育を実質化し、大学の教育の質を保証するためのシステムの一環でもあります。途中で受講をやめたり、試験を放棄したりすると GPA が低下します。したがって、学生の皆さんには履修責任が求められることになります。

●GPA の算出基準

履修した科目の成績評価は100点満点で行います。点数に応じて科目毎に GP 評点を算出します（下表参照）。

素点範囲	成績評語	GP 評点
100～90	秀	4.0
89～80	優	3.0
79～70	良	2.0
69～60	可	1.0
59点以下	不可	0.0
試験放棄又は成績評価不能	放棄	0.0

●GPA の計算式と対象

$$\text{GPA} = \frac{\text{【秀の修得単位数} \times 4 \text{】} + \text{【優の修得単位数} \times 3 \text{】} + \dots + \text{【不可・放棄の単位数の和} \times 0 \text{】}}{\text{秀} + \text{優} + \text{良} + \text{可} + \text{不可} + \text{放棄の総履修単位数}}$$

- ・ GPA は「卒業要件に関わる履修科目」および「課程科目を含む全履修科目」について、それぞれ「当該セメスターに履修した科目」および「当該セメスターまでに履修した全科目」の括りで算出します。
- ・ 不合格となった科目を後に再履修して合格となった場合、セメスター毎の GPA は元の成績で算出しますが、通算の GPA は合格した際の成績のみを対象として算出します。
- ・ 他大学等で履修した科目の単位で、本学の履修科目として修得が認められた単位（認定単位）については GPA の対象とはなりません。

●GPA の利用

学部・学科により、特待生の選考やゼミの選考などに利用されます。なお、成績証明書には記載されません。

4 成績評価に関する問合せ制度について

成績評価は厳格かつ正確に行われるよう留意していますが、万一成績評価に疑問がある場合には、所属学部の事務部署に申し出れば、皆さんに代わって授業担当者に問合せを行います。受付期間は、成績発表開始日から3日間としています。詳細については、FU ポータル等により皆さんにお知らせします。

なお、この制度は成績評価の厳格さと正確さを担保するためのものです。授業担当者との評点の交渉や、成績不振者に対する救済の機会を提供するものではありません。

在学の年限

学生は、8年を超えて在学することができません。

なお、医学部医学科および薬学部の学生については、12年を超えて在学することができず、同一学年・年次に在学できる年数は2年が限度です。

上記在学期間が満了した場合は除籍になりますので、十分留意の上勉学に励んでください。

卒業

1 卒業の認定

修業年限および「福岡大学学科履修規程」に定められた各学部の卒業に必要な科目・単位数を満たした者には3月に卒業の認定を行います。

2 前期卒業

修業年限を満たし、前期完結科目の合格によって前期で卒業要件科目および単位を修得した場合、本人の希望により前期終了日付で卒業の認定を受けることができます。

※前期卒業については、本人による事前の手続が必要です。2月に実施する4年次生以上の成績発表後に成績を確認した上で、必ず3月の履修登録前に所属学部の事務部署の窓口で相談してください。

交通機関の乱れや台風・積雪等による授業の休講等

交通機関の大きな乱れや台風・積雪等により、授業や試験の予定に変更が生じる場合は、福岡大学公式Webサイト、FUポータル等でお知らせします。

福岡大学公式 Web サイト：<https://www.fukuoka-u.ac.jp/>

2024年度 前後 期

試験時間割

共通教育科目(自然科学系列一部を除く)
課程科目(「情報職業論」及び
専門科目の「理科教育法Ⅰ・Ⅱ」は除く)

理学部用

1. 授業時間割、試験時間割をよく見て、授業においても試験においても重複しないように注意して登録してください。重複した科目の登録は認められません。
2. 専門教育科目および自然科学科目については別途組み直し後日発表します。
3. 試験時間割を変更する場合は掲示板に掲示するので特に注意してください。
4. 会話科目およびLL授業科目は試験前の掲示に注意してください。
5. 通年科目は前期・後期とも受験しなければ単位は認定されません。
6. 二部の試験時間割は二部掲示板で後日発表します。

	前期 7月24日(水)		前期 7月25日(木)		前期 7月26日(金)		前期 7月27日(土)	
	後期 1月15日(水)		後期 1月16日(木)		後期 1月20日(月)		後期 1月21日(火)	
I 9:30 } 10:30	教 教	地学A (SM) [前] 地学B (SM) [後]	教 教 教 教	地理学A [前] 地理学B [後] 芸術A [前] 芸術B [後]				
II 10:50 } 11:50		第2外国語II (文系学部の第2外国語II Aと 合併開講のクラス)		インターメディアイト・イングリッシュI (再クラス含む) [前] インターメディアイト・イングリッシュII (再クラス含む) [後]	学芸 学芸	第2外国語I A 博物館概論 [前] (福間) 博物館経営論 [後] (太田)		フレッシュマン・イングリッシュI (再クラス含む) [前] フレッシュマン・イングリッシュII (再クラス含む) [後]
III 12:30 } 13:30	教 教 教	法学A [前] 法学B [後] 地球環境 [後] 福岡大学で考える現代社会 [後] (山本)						
IV 13:50 } 14:50	学芸	博物館教育論 [後] (外平・三好・山下)	教 教 教 教 学芸	商学A [前] 商学B [後] 社会学A [前] 社会学B [後] 博物館展示論 [前] (植野)			教 教 教 教 教 教	日本文学A [前] 日本文学B [後] 西洋文学A [前] 西洋文学B [後] アジアの文学A [前] アジアの文学B [後]
V 15:10 } 16:10							教職 教職	総合的な学習の時間と特別活動の指導法 [前] (土本・和田) 総合的な学習の時間と特別活動の指導法 [後] (入江・土本)
VI 16:30 } 17:30	教職 教職 教職 教職	生涯学習概論A [前] (植上・添田・丹田) 生涯学習概論B [後] (植上・添田・丹田) 教職概論 [前] (伊藤・高妻・佐藤・藤田) 情報科教育法II (SM・SP) [後] (菊竹)	教職 教職	数学科教育法IV [後] (吉塚) 理科教育法IV [後] (石原)	教 教	日本国憲法 [前] 日本国憲法 [後]	教職 教職 教職	教育行政学 [前] (高妻) 情報科教育法I (SM・SP) [前] (菊竹) 教育法規 [後] (原北)
二部 I 18:20 } 19:20				インターメディアイト・イングリッシュII(再)[前]				フレッシュマン・イングリッシュII(再)[前]

	前期 7月29日(月)		前期 7月30日(火)		前期 7月31日(水)		前期 8月1日(木)	
	後期 1月22日(水)		後期 1月23日(木)		後期 1月24日(金)		後期 1月27日(月)	
I 9:30 } 10:30	教 教 教 教 教 教	倫理学A [前] 倫理学B [後] 論理学A [前] 論理学B [後] 心理学A [前] 心理学B [後] 哲学A [前] 哲学B [後]			教 教 教 教	生物学A (SM) [前] 生物学B (SM) [後] 化学A (SM) [前] 化学B (SM) [後]		
II 10:50 } 11:50			フレッシュマン・イングリッシュⅢ (再クラス含む) [前] フレッシュマン・イングリッシュⅣ (再クラス含む) [後]			第2外国語ⅠB	インターメディアイト・イングリッシュⅢ (再クラス含む) [前] インターメディアイト・イングリッシュⅣ (再クラス含む) [後]	
III 12:30 } 13:30	学芸	博物館資料論 [前] (太田)					教 教 教 教	経済学A [前] 経済学B [後] 政治学A [前] 政治学B [後]
IV 13:50 } 14:50	教職 教職 教職 教職 教職	教育心理学 [前] (紺田・中島・松永・本山) 教育心理学 [後] (紺田・本山) 特別支援教育論 [前] (徳永・松原) 特別支援教育論 [後] (徳永・長谷川(雅)・松原) 人権教育 [後] (野口)	教 教 教 教 教 教 教 教	日本史A [前] 日本史B [後] 東洋史A [前] 東洋史B [後] 西洋史A [前] 西洋史B [後] 宗教学A [前] 宗教学B [後]				
V 15:10 } 16:10	教 教 教 教 教 教 教 教 教 教 教	国際化と日本 [後] 現代を生きる [後] 第2外国語Ⅱ (文系学部の第2外国語ⅡBと 合併開講のクラス) 数学科教育法Ⅱ [前] (吉塚) 数学科教育法Ⅲ [後] (吉塚) 理科教育法Ⅲ [後] (石原) 福岡大学で考える現代社会 [後] (重松) 福岡大学で考える現代社会 [後] (鈴木(孝)) 福岡大学で考える現代社会 [後] (辻部) 福岡大学で考える現代社会 [後] (飛田) 福岡大学で考える現代社会 [後] (三島) 福岡大学で考える現代社会 [後] (山崎) 福岡大学で考える現代社会 [後] (渡邊)					教職 教職 教職	生徒指導論 (進路指導を含む。) [前] (友清・田村) 生徒指導論 (進路指導を含む。) [後] (田村・村久保) 数学科教育法Ⅰ [後] (吉塚)
VI 16:30 } 17:30	教職 教職 教職 教職	道徳教育論 [前] (入江・菊池・土本) 道徳教育論 [後] (菊池・野口) 教育方法とICTの活用 [前] (原北・和田) 教育方法とICTの活用 [後] (伊藤・佐藤)	教職 教職 教職 教職	教育相談 [前] (友清・松永・満身) 教育相談 [後] (中島・松永) 博物館情報・メディア論 [後] (高橋・福岡)	教 教 教 教 教 教	教育原論 [後] 教育の原理・課程論 [後] 教育福祉論 [前] (村上) 教育福祉論 [後] (長江)	教 教 教 教 教 教	西洋教育史 [前] 日本教育史 [後] 文化人類学A [前] 文化人類学B [後] 教育制度論 [前] (小田・鄭) 教育制度論 [後] (小田・高妻・鄭)
二部 I 18:20 } 19:20			フレッシュマン・イングリッシュⅣ(再) [前]					インターメディアイト・イングリッシュⅣ (再) [前]